

研究紀要68 まえがき

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-12-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 西多, 由貴江 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00068487

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



まえがき

本園は令和2年度より「幼児期における社会情動的スキルの発達」を研究テーマに掲げ、実践研究を積み重ねてまいりました。「社会情動的スキル」とは、一般には「非認知的能力」「非認知的スキル」とも呼ばれることもあります。近年、幼児期に育まれた社会情緒的スキルが生涯にわたって影響すること等が、海外での縦断研究において示されています。日本でも国立教育施策研究所のプロジェクト研究「幼児期からの育ち・学びとプロセスの質に関する研究」等において縦断研究が行われているところであり、国内においてもその重要性が注目されています。本園では社会情動的スキルを「社会で生きていく際に有用な技能と心の変化に対する姿勢」と定義づけ、事例収集、考察・分析を繰り返し、日々の保育の中に反映させてまいりました。

今年度は「社会情動的スキル」の一つである「探究心」に着目し、サブテーマを「探究心」を育む環境の構成と教師の援助とし、昨年度の研究で十分に検証することができなかった環境の構成や教師の援助について明らかにするべく、幼児の「どうしてかな」「もっと〇〇したい」等の姿が見られた事例を様々な方法で収集し、検証を積み重ね、まとめるに至りました。今後、さらに研究の充実と発展に努めてまいりたいと思っております。皆様には、本紀要をご高覧いただき、忌憚のないご意見・ご指導くださいますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本研究を進めるにあたって熱心なご指導をいただきました金沢大学人間社会研究域学校教育系の滝口圭子教授、愛媛大学教育学部（元金沢大学人間社会研究域学校教育系）浅川淳司准教授をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

令和4年11月

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園長 西多 由貴江